

対象患者：大腸癌
 レジメン名：FOLFIRI+RAM
 1コースの日数：14日

催吐性リスク：中等度
 血管外漏出リスク
 イリノテカン：炎症性抗がん薬
 フルオロウラシル：炎症性抗がん薬
 ラムシルマブ：非壊死起因性抗がん薬

Rp.	抗がん剤名 (溶解液、支持療法も含む)	標準投与量	投与方法	投与ルート	投与時間	day				
						1	～	8	～	14
1	d-クロルフェニラミンマレイン酸塩 生理食塩液	5mg 50mL	点滴静注	メインルート	30分	○				
2	ラムシルマブ 生理食塩液	8mg/kg 250mL	点滴静注	メインルート	1時間(1回目) 30分(2回目以降)	○				
3	生理食塩液	50mL	点滴静注	メインルート	1時間(1回目、2回目) 5分(3回目以降)	○				
4	パロノセトロン ホスネツピタント デキサメタゾン	0.75mg 235mg 4.95mg	点滴静注	メインルート	30分	○				
5	生理食塩液	50mL	点滴静注	メインルート	5分	○				
6	イリノテカン 生理食塩液	150mg/m ² 250mL	点滴静注	メインルート	1時間30分	○				
7	レボホリナート 5%ブドウ糖液	200mg/m ² 250mL	点滴静注	側管	2時間	○				
8	フルオロウラシル 5%ブドウ糖液	400mg/m ² 50mL	急速静注	メインルート	5分	○				
9	生理食塩液	50mL	点滴静注	メインルート	5分	○				
10	フルオロウラシル 生理食塩液	2400mg/m ² (115-投与量)mL	持続静注	メインルート	46時間	○				

点滴順序：Rp1→2→3→4→5→6(7)→8→9→10

投与時間：50時間30分(1回目)、50時間(2回目)、49時間(3回目以降)

備考：
 ラムシルマブ使用のため、フィルター付き専用ルートを使用する。
 1,2コース目までは1時間の経過観察のため、生理食塩液でルートキープする。Infusion reactionの発現なければ3コース目以降は省略可とする。
 Rp6,7は同時投与する。
 Rp10はインフューザーポンプを使用する。